

# まち活「ナゴヤWalkingクラブ」

## ③ 四間道と円頓寺界隈ウォーキングコース

国際センター駅～四間道～浅間町駅約3.6km 50分



美濃路は四間道の東堀川沿いの道を北に進み五条橋を経て城西2を左折し琵琶島へとつづいていきます。

### 名古屋国際センター



高さ100mを越える超高層ビルとしては中京地区で最初に建てられました。2階から6階までが国際センターの施設です。国際交流の総合拠点施設として国際交流の様々なイベントが行われています。

### 四間道保存地区



名古屋市のみ町並み保存地区に指定されている、四間道町並み保存地区が広がります。禄13年(1700年)に発生した大火のあと、ここの道を約四間(約7メートル)に広げたことが名前の由来と言われます。

### 伊藤家住宅



慶長19年(1614年)に清須からここに移ってきた商人で、堀川沿いに住宅があったため「川伊藤」と呼ばれていました。堀川の水運を利用した尾張藩の御用商人として米穀問屋として活躍しました。

### 五条橋



清須の五条川にかけられていた橋で、清須越でこの地に移されました。四間道よりの橋のためには、美濃路と記された道標が立っています。

### 円頓寺商店街



名古屋で最も古い商店街の1つと言われています。名古屋駅に近いこと、東側に名鉄瀬戸線の堀川駅、名古屋電気鉄道の江川線が開通したことから交通至便となり、多くの人で賑わう商店街となりました。

### 信長像



水戸黄門や信長、秀吉、家康の人形がありますが、これは商店街の活性化のために寄贈されました。

### 円頓寺



円頓寺商店街の中ほどに商店街の名称の由来になっている円頓寺があります。名古屋城築城の余材を拝借して建築されたといわれ、当初は普敬院と称していました。

### 西願寺



寶龜山と号し、もと中区丸の内的那古野神社にあって天台宗でしたが、西英なる者が改宗したと言います。幅下浅間町を経て現在地に移転しました。

### 隅田神社



熱病の流行と村内で起きた火事をきっかけに疫病防止と安全祈願のために創建されました。

### 菓子問屋街



明道町の菓子問屋街といい、駄菓子の問屋が立ち並んでいて、昭和の昔ながらの風景が残っています。

### 多賀の宮



アーケードの中にある珍しい神社です。滋賀県の多賀神社の分社で、江戸時代に清須越の際にはここに建てられたといわれています。